

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月14日

計画の名称	新大平下駅前地区（第2期）												
計画の期間	平成31年度～平成32年度（2年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	栃木市												
計画の目標	<p>太平山に代表される豊かな自然環境と広大な田園景観を有する大平地域は、伝統的農業を基幹産業としながらも、大手家電メーカーや大手自動車メーカーの操業により、自立性の高い都市として発展してきた。</p> <p>しかし、都市基盤整備の遅れやモータリゼーションの進展に伴う大規模商業施設の郊外立地等により、中心市街地の空洞化が進行している。</p> <p>さらに、住宅が密集しており、火災による延焼の危険性の高い地区で、公園等のオープンスペースが不足している中、平成26年度から都市再生整備計画事業及び都市再生区画整理事業による駅周辺の環境整備に取り組み、地域住民の安全性の向上と大平地域の顔としてふさわしい快適でにぎわいのある市街地を形成を目指している。</p> <p>引き続き、土地区画整理事業による街づくりを推進する。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	551	A	551	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	・土地区画整理事業地内の防災性向上のため旧耐震基準に該当する木造老朽化建築物の減少を図る。 土地区画整理事業地内の防災性向上に資する老朽化建築物が除却された棟数を算定する。	33棟	棟	15棟
2	・土地区画整理事業地内の消防活動困難区域の解消を図る。 土地区画整理事業地内の消防活動困難区域の面積を算定する。	1ha	ha	0ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H31	R02	R03	R04	R05					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	街路	一般	栃木市	直接	栃木市		区道	改築	新大平下駅前第2地区(都)大平町役場通り外)	区画整理A=5.3ha	栃木市						394	-		
													小計						394		
市街地整備事業	A13-002	市街地	一般	栃木市	直接	栃木市	-	-	土地区画整理事業(新大平下駅前第2地区)	都市再生区画整理事業(A=5.3ha)	栃木市							157	-		
													小計						157		
												合計							551		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定主体（市街地整備課）にて評価を実施	令和3年度
	公表の方法
	栃木市ホームページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業に伴う建物移転等により、木造老朽化建築物が減少し、安全性の高い快適な市街地の形成が図られた。 ・都市計画道路や区画道路の整備により、消防活動困難区域が解消され、防災性が高く地域住民が快適に生活できる駅周辺環境が形成された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度から都市再生整備計画事業及び都市再生区画整理事業に取り組み、都市計画道路である新大平下駅前線等の整備により、駅西口へのアクセス向上が図られ、にぎわいのある駅周辺環境を創出することができた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定区域内の未施行地区について、引き続き土地区画整理事業による整備の検討を行い、安全・安心なにぎわいのある市街地形成を目指す。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	15棟
	最終実績値	15棟
2	最終目標値	0ha
	最終実績値	0ha